

INFORMATION FROM JAF

●JAFからの公示・お知らせ

2015年度（2015年4月1日より2016年3月31日まで）事業報告ならびに収支報告

[公示No.2016-062]

2015年度はフォーミュラ1、WEC（世界耐久選手権）、WTCC（世界ツーリングカー選手権）、CIK-FIAアジアパシフィックKF選手権など世界選手権競技会の、日本開催のための支援を行いました。

モータースポーツファンの裾野を広げるために「モータースポーツジャパン」等のイベントへの出展・協力を行うとともに、海外からのモータースポーツ観光客を誘致するため「ビジット・ジャパン トラベルマート」にブースを出展しました。また入門者向けの新種競技「オートテスト」を開発し、開催要項および主催者向けのガイドラインを公示しました。

「JAFグランプリ」については昨年に引き続き、各種の支援・協力を行いました。

詳細は以下の通りです。

注) 以下のデータのうち*印は、2015年1月～12月までの1年間の実績です。

1 国内モータースポーツ活動の充実

(1) 選手権競技会の認定

全日本選手権及び地方選手権競技会として認定した合計321件*の競技会のうち、全日本選手権等61競技*（四輪、カート合計）に競技会審査委員を派遣し、規則の施行を徹底した。

【選手権競技会等認定件数*】

種別	内訳	件数
レース	全日本選手権	7
		8
	地方選手権	7
		10
		38
ラリー	全日本ラリー選手権	9
	地方ラリー選手権	32
ジムカーナ	全日本ジムカーナ選手権	8
	地方ジムカーナ選手権	63
	地方サーキットトライアル選手権	4
	JAFカップジムカーナ	1
ダートトライアル	全日本ダートトライアル選手権	8
	JAFカップダートトライアル	62
カート	全日本カート選手権	21
	地方カート選手権	20
	ジュニアカート選手権	22
合計		321

(2) 競技会の公認

- ① 合計527件*の競技会を公認した。うち国際格式は、F1・WEC・WTCCなど21件*であった。

【競技会公認件数*】

種類	2015年	2014年	前年比(%)	
四輪	レース	87	84	103.6%
	ラリー	72	69	104.3%
	スピード行事	297(479)	305(497)	97.4%
カート	71(176)	87(182)	81.6%	
合計	527(814)	545(832)	96.7%(97.8%)	

()内は組織許可不要なクローズド競技を含む。

(3) 車両公認

国内車両公認申請32件*を承認した。

(4) モータースポーツライセンスの発給

- ① 四輪各種ライセンス62,296件*、カート各種ライセンス5,905件*を発給した。
- ② 5月、8月および11月に実施したライセンス未更新者更新促進策（はがきタイプの更新案内）では8,562件を取扱った。

【ライセンス発給件数*】

分類	ライセンス種別	2015年	2014年	前年比(%)	
四輪	ドライバーライセンス	国際(A~R, ツーラーカー)	2,899	2,840	102.1%
		国内A	17,694	17,461	101.3%
		国内B	22,993	22,975	100.1%
		小計	43,586	43,276	100.7%
	エンタラントライセンス	国際	320	302	106.0%
		国内	325	288	112.8%
		小計	645	590	109.3%
	オフィシャルライセンス	1級	2,905	2,891	100.5%
		2級	5,147	5,230	98.4%
		3級	10,005	9,716	103.0%
小計		18,057	17,837	101.2%	
エキスパートライセンス		8	8	100.0%	
合計		62,296	61,711	100.9%	

分類	ライセンス種別	2015年	2014年	前年比(%)	
カート	ドライバーライセンス	国際(A,B,C)	565	590	95.8%
		ジュニア国際	32	41	78.0%
		国内A	1,213	1,241	97.7%
		国内B	2,070	2,173	95.3%
		ジュニア(A,B)	246	287	85.7%
	小計	4,126	4,332	95.2%	
	エンタラントライセンス	国際	59	55	107.3%
国内		211	235	89.8%	
小計		270	290	93.1%	
オフィシャルライセンス		1,503	1,543	97.4%	
エキスパートライセンス		6	6	100.0%	
合計		5,905	6,171	95.7%	

(5) 登録クラブの活性化への寄与

- ① 合計1,005件*のJAF登録クラブ・団体の登録を行った。
- ② 全国8地域のJAF登録クラブ地域協議会との連絡会議を8月、2月の2回開催した。

【J A F登録クラブ・団体の登録件数】

分類	2015年	2014年	前年比(%)		
四輪	特別団体	9	10	90.0%	
	公認団体	5	5	100.0%	
	加盟団体	25	26	96.2%	
	準加盟団体	16	14	114.3%	
	公認クラブ	22	22	100.0%	
	加盟クラブ	387	387	100.0%	
	準加盟クラブ	425	441	96.4%	
	小計	889	905	98.2%	
	カート	特別団体	5	5	100.0%
		加盟団体	14	14	100.0%
公認コース団体		14	15	93.3%	
加盟コース団体		14	14	100.0%	
公認クラブ		6	6	100.0%	
加盟クラブ		37	37	100.0%	
準加盟クラブ		26	24	108.3%	
小計		116	115	100.9%	
合計	1,005	1,020	98.5%		

(6) J A Fグランプリの開催

11月に三重県の鈴鹿サーキットで開催された「J A F鈴鹿グランプリ」では、決勝日に16,000名のファンや家族連れが訪れた。

(7) J A Fモータースポーツ表彰式の開催

「2015年J A Fモータースポーツ表彰式」を11月27日、都内のホテルで開催し、全日本選手権カテゴリーおよびスーパーGTシリーズのチャンピオンと上位入賞者を表彰した。また、ソーラーカーレース鈴鹿の上位入賞者への表彰を行った。

この席上、ウィメン・イン・モータースポーツの活動報告や新種競技「オートテスト」について披露する一方、国内ラリー界で永年にわたり指導者的な立場で活躍された寺尾慶弘氏に「J A Fモータースポーツ名誉委員」の称号を贈呈した。

(8) 説明会の開催

- 1月に全日本レース選手権に関する参加者およびオーガナイザーを対象に規則説明会を開催した。
- 全日本ラリー選手権オーガナイザー会議を2月に開催した。
- 全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権オーガナイザー会議を1月に開催した。

2 モータースポーツ各種委員会の開催、運営

モータースポーツ審議会をはじめ各種委員会を合計62回*開催した。

【委員会開催件数*】

委員会名	回数
モータースポーツ審議会	3
登録部会	5
安全部会	4
メディカル部会	4
技術部会	6
マニファクチャラーズ部会	10
レース部会	5
ラリー部会	7
スピード行事部会	7
電気・ソーラーカー部会	4
カート部会	7
合計	62

3 モータースポーツ関係規則の制定、改正

新種競技「オートテスト」の開催要項および主催者向けガイドラインを公示したほか、「国内競技車両規則」等、各種モータースポーツ関係諸規則(26件)を制定又は改正した。

4 安全対策の推進

(1) レーシングコース査察及び許可証の発給

F I Aコース査察員による国際レーシングコース査察及びJ A Fコース査察員による国内/国際レーシングコー

ス査察をそれぞれ実施し、J A F国内モーターレーシングコース許可証(17件、13ヵ所)*を発給した。

- スピード行事コース査察及び許可証の発給
J A Fコース査察員によるジムカーナコース(10ヵ所)*、ダートトライアルコース(7ヵ所)*の査察をそれぞれ実施し、J A Fスピード行事競技コース許可証(ジムカーナ51件、ダートトライアル19件)*を発給した。
- 救急医療体制の充実
競技会での救急医療体制充実のため、鈴鹿サーキット、富士スピードウェイ、ツインリンクもてぎにおいて、医療体制の視察を行った。
- ドーピング検査の実施
全日本選手権レース競技会で2名のドライバーに対し、ドーピング検査を実施した。
- 競技車両に対する安全対策
レース車両の安全装置(ロールケージ)に関する規則を、引き続き最新のF I A競技車両規則に準拠したものとした。
- ラリー競技における安全対策
国内ラリー競技会オフィシャルを対象としたスペシャルステージにおける救急活動訓練を2回開催した。

5 モータースポーツ広報の拡充

- 4月11~12日に東京・お台場で開催された「モータースポーツジャパンフェスティバル2015」にJ A Fのブースを出展し、日本の四輪モータースポーツ統轄団体(A S N)としての業務やモータースポーツとの関わり、およびF I Aでも推し進める女性のモータースポーツ参加を促す「ウィメン・イン・モータースポーツ」の活動について、積極的にPRした。
- 国内モータースポーツ活性化対策の一つとして、9月25~27日に東京ビッグサイトで開催された「ビジットジャパン トラベルマート2015」(主催:日本政府観光局(J N T O))に、国内主要サーキット、レースプロモーターとの共同でブースを出展し、海外からの観光客を国内主要レースに誘致する活動を行った。
- 2015年J A Fプレスパスを審査のうえ50名*に発行した。

6 国際組織等との国際交流の推進

- F I Aの活動に参加し、その連携を強化するため、J A Fの役職員、モータースポーツ関係委員が各種会議に出席した。

【F I A会議等への出席*】

会議等	回数
F I A総会	1
世界モータースポーツ評議会	3
専門委員会	17
作業部会	4
CIK委員会	2
CIK作業部会	3
アジアゾーン会議	1
競技会視察	4
その他	7

【海外競技参加出場証明書の発行数*】

レース	311
ラリー	93
カート	46
合計	450

- F I A幹部との意見交換会や海外のF I A選手権競技会への審査委員の派遣等を通じ、F I Aや諸外国のモータースポーツ関係者との交流を推進した。
- F I Aが、日本発祥であるドリフト競技の定義とクラス分類に着手するにあたり、J A Fからコーディネーターを派遣した。
- 救出訓練講習会の実施
F I A I N S T I T U T E (F I A研究所)認定のア

ジア地域訓練供給者（RTP）としてタイ王国ASN（RAAT）からの要請のに基づき、同国からのオフィシャルを対象に救出訓練講習を実施した。

●2015年8月18～24日（於：タイ王国）

7 カート競技における安全対策の推進と開催促進

(1) 安全対策の推進

- ① 国内カートコース（4カ所）*の査察を実施した。
- ② 国内カートのスーツ（1件）、FP-Jr Cadets用 シャシー（7件）の公認（登録）申請の審査を実施した。*

(2) 選手権競技会開催への支援

- ① 全日本、地方、ジュニアカート選手権競技会を認定するとともに、規則の施行を徹底するため、競技会審査委員を派遣した。
- ② オーガナイザー会議を11月に開催し、競技運営に対する指導を行った。
- ③ チーフオフィシャル会議を2月に開催し、競技運営に対する指導を行った。

8 電気・ソーラーカーレースの振興

(1) 「ソーラーカーレース鈴鹿」の開催支援

8月、鈴鹿サーキットにおいてFIA代替エネルギーカップ「ソーラーカーレース鈴鹿2015」を共催した。

9 収支報告

2015年度におけるモータースポーツ業務に直接係わる収入は約3.9億円（事業収入：クラブ・団体登録料、ライセンス発給料、許可証料、車両公認料、物品販売収入、手数料収入、カート関係収入および事業外収入）、支出は約5.3億円（事業費：JAFスポーツ誌製作費、スポーツ業務費、スポーツ奨励費、カート業務費、物品製作費、宣伝普及費、会議費、人件費、交通費他および事業外費用）でした。

なお、収支の差は会費等の収入から充当しています。

10 罰金等の金額について

公認競技会で納められた罰金および没収された抗議料または控訴料の2015年度末の残高は以下のとおりです。

なお、罰金および没収された抗議料または控訴料は、国内競技規則11-8（罰金収入の措置）に従ってJAFの特別基金に繰り入れ、モータースポーツの振興および福祉目的のために使用しています。

2015年度末罰金残高	11,774,592円
<内訳>2014年度罰金等残高	10,199,841円
2015年度罰金等総額	1,574,751円

以上

海外競技会出場証明書（サーティフィケート）発行件数一覧と申請方法

[公示No.2016-063]

国際モータースポーツ競技規則第2条2)、第2条3)、第3条9)、およびJAFスポーツ資格登録規定第7条2に基づき、JAFが「海外競技会出場証明書（サーティフィケート）」を発行した件数です。

2016年5月発行分

競技会開催日	競技会名	開催場所	発行数
数次用			7
5月21日～5月22日	AAM Malaysian Rally Championship 2016 Rd.1	Pelris, MALAYSIA	2
5月26日～5月29日	ADAC Zurich 24hour Race	Nürburgring, GERMANY	2
5月27日～5月29日	2016 China Drift Championship	Beijin, CHINA	2
6月17日～6月19日	International Rally of Queensland (APRC)	Queensland, AUSTRALIA	6
6月24日～6月26日	SPA Summer Classic - SPA 3Hours -	Spa-Francorchamps, BELGIUM	1
7月21日～7月24日	2016 TAIWAN SPEED FESTIVAL	Pen Bay International Circuit, TAIWAN	1
8月5日～8月7日	Ferrari Challenge Asia-Pacific 2016	Sepang, MALAYSIA	1

●海外競技会出場証明書（サーティフィケート）申請について

海外競技会出場証明書（サーティフィケート）は、JAF発行のライセンスを所持する方が、海外で開催されるASN公認の四輪またはカートの競技に参加・出場する際、競技会の格式が国際または国内を問わず必要な証明書です。

ただし、国内カートライセンスでは、海外のカート競技に参加・出場することはできません。

出発日の2週間前までに所定の申請書に記入のうえ、申請料を添えてJAF支部に申請してください。

所定の申請書はJAF窓口で入手するか、JAFホームページ（<http://www.jaf.or.jp/>）→モータースポーツ→データ室→各種申請書等→海外競技会出場証明書申請書）からダウンロードすることができます。

1回用：1競技会限定のサーティフィケートです。

数次用：当該年度中、複数の競技会に有効なサーティフィケートです。3競技会以上出場のご予定があればこちらをお薦めします。

【申請受付】

JAF地方本部・支部で受付しています。持参または郵送（現金書留）にてご申請ください。

【必要書類】

競技運転者(コドライバー含む)用	参加者用
<ul style="list-style-type: none"> 海外競技会出場に関する証明申請書 写真(3cm×3cm、無帽、無背景) ※髪などで顔が隠れていないもの 申請料 1回用 ¥8,300(税込) 数次用 ¥24,100(税込) 	<ul style="list-style-type: none"> 海外競技会出場に関する証明申請書 申請料 1回用 ¥8,300(税込) 数次用 ¥24,100(税込)

お問い合わせ先 (JAF地方本部モータースポーツ窓口)			
北海道本部	☎ 011-857-7155	関西本部	☎ 072-645-1300
東北本部	☎ 022-783-2826	中国本部	☎ 082-272-9967
関東本部	☎ 03-6833-9140	四国本部	☎ 087-867-8411
中部本部	☎ 052-872-3685	九州本部	☎ 092-841-7731

Aライセンス講習会 日程

[公示No.2016-064]

開催日	時間	開催場所	申込先	TEL	主任講師	受講料	
						上段：B所持者	下段：B非所持者
7月20日	9:00～17:00	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームマグナスオートクラブ (TMAC)	03-3611-6687	稲村 政幸	¥19,000/ ¥23,000	実費
7月27日	8:30～17:00	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	イロハモータースポーツリングチーム (YMS-RT)	048-564-3661	富田 等	¥20,000/ ¥24,000	実費
8月20日	9:00～17:00	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームマグナスオートクラブ (TMAC)	03-3611-6687	稲村 政幸	¥20,000/ ¥24,000	実費
9月11日	9:00～16:30	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームクレーバレーシング (CLEVER)	03-3766-3312	平塚 由紀人	¥20,000/ ¥24,000	実費
9月11日	9:00～17:00	スポーツランドSUGO 宮城県柴田郡村田町	にっかわくらぶ事務局 (NC)	080-3192-8147	佐々木 豊	¥20,000/ ¥24,000	実費
9月22日	9:00～17:00	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームマグナスオートクラブ (TMAC)	03-3611-6687	稲村 政幸	¥20,000/ ¥24,000	実費

公認審判員講習会日程

[公示No.2016-065]

開催日	時間	開催場所	種別	申込先	主任講師	受講料(1科目)	教材費
7月23日	8:30～15:30	富士スピードウェイ 静岡県駿東郡小山町	技術・コース・計時 A1/A2/B1/B2	410-0317 静岡県沼津市石川359-7 ソニックレーシング(RT・SONIC) 055-967-8878	栗田 吉晴	¥12,500	実費

※2科目以降の受講料は、1件につき¥4,100が加算されます。